

臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

口腔外科疾患術後のにおける半固形化栄養剤を用いた栄養管理の検討

2. 研究責任者

豊田厚生病院 歯科口腔外科 兼子隆次

3. 研究の概要

口腔外科疾患において、術後の多くは経腸栄養剤にて栄養管理を行っています。本剤は嘔吐、胃食道逆流症、腹部膨満感、下痢などの消化器症状、脱水、電解質異常、ビタミンや微量元素の欠乏などの代謝障害、誤嚥性肺炎や血糖値の変動が見られることがあります。これらは液体栄養剤症候群と呼ばれ主に栄養剤の粘性が低いことからくる非生理的な注入に要因があるされています。栄養管理が不十分であれば術後に感染や皮弁の不着などの合併症の原因となります。こうした合併症を改善する観点から半固形化栄養法が注目されています。半固形化栄養法は経口摂取に近い状態の栄養法であり、それまでの液状栄養剤に比べて、胃腸においてより生理的な蠕動運動や消化吸収が可能になると考えられています。

本研究では半固形化栄養剤の有効性や合併症の発症頻度などを従来型の液性栄養剤と比較検討することを目的としています。

4. 研究の方法

①対象となる患者さん

2014年4月1日から2019年6月30日までに当院口腔外科にて治療した患者のうち、術後に経鼻胃管から半固形化栄養材によって栄養管理した患者さんを対象とし、栄養管理、合併症の発生頻度などを比較します。

(研究期間 治験倫理審査委員会承認日～2020年6月30日)

②調査項目

電子カルテから下記の情報を調査します。

1. 年齢、性別、既往歴、内服歴、身長、体重、BMI
2. 血算：白血球，赤血球，ヘモグロビン，ヘマトクリット，血小板、リンパ球数
3. 生化学：総タンパク，アルブミン，グルコース，HbA1c，総コレステロール、コリンエラスラーゼ、電解質（Na,K,Cl）
4. 口腔外科疾患名
5. 経腸栄養剤の投与条件：種類、投与期間、投与時間、投与量、カロリー数
6. 合併症：消化器性、機械性、代謝性とその程度
7. 便の回数・性状：ブリストルスケール
8. SSI（手術部位感染）の発生、再建皮弁の生着状態

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：豊田厚生病院 歯科口腔外科 兼子隆次

〒470-0396

豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）